

2023年度共通目的事業・助成事業一覧

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会

No	事業名	事業区分	事業概要	助成総額		
	申請者名			(円)	2023年度分 助成額 (円)	2024年度分 助成額 (円)
1	2023年第29回日本管楽合奏コンテスト	2	本コンテストは、管打楽器及び吹奏楽の研究・調査・啓発により音楽文化の向上を図り、小・中・高の音楽教育の充実・発展に寄与するとともに、合奏活動を通じて著作権等への理解を深めることを目的に、全国大会では毎年約10,000名の参加を得て実施している。小学生部門に加え中・高校生は編成規模に応じて部門を設け、各部門ごとに最優秀賞・優秀賞を選定し、各部門の最高位である最優秀グランプリ賞受賞団体には文部科学大臣賞が授与される。	6,500,000	6,500,000	—
	公益財団法人日本音楽教育文化振興会					
2	第33回兵庫県学生ピアノコンクール	2	兵庫県学生ピアノコンクールは1991年より33年続く県内最大のピアノコンクールで、「県コン」の愛称で親しまれています。これまでのべ3万人以上の学生が演奏し、毎年約1,000人がコンクールに参加、音楽に関わる人材育成の場として定着しています。また、音楽系の大学を目指すための登竜門といわれ、過去の参加者からはプロのピアニストを多数輩出しています。	1,650,000	1,650,000	—
	株式会社神戸新聞社					
3	第81回全国舞踊コンクール	2	1939年に始まり、バレエ、現代舞踊、邦舞、児童舞踊、群舞、創作舞踊の全6部門年齢別13部に全国から約850組、1200人が参加する国内最高レベルで、最も歴史があるダンスコンペティション。著名な舞踊家やコレオグラファーを数多く輩出しており、「舞踊の著作物」の表現者・創作者の育成、舞踊芸術の発展に貢献している。上位入賞者の演技ダイジェストやインタビューを公式ホームページ、動画配信サイトなどで紹介し、上位入賞者によるアンコール公演も実施する。	5,630,000	2,700,000	2,930,000
	株式会社中日新聞社東京本社（東京新聞）					
4	教科書定番教材4作品の番組制作と公開	2	これまで5年にわたり開催してきた企画展「教科書のなかの文学／教室のそとの文学」の実績を踏まえ、教科書定番教材4作品（芥川龍之介「羅生門」、中島敦「山月記」、森鷗外「舞姫」、夏目漱石「こころ」）に関し、教室で放映して作品への理解を深めることのできる教材番組を、新たに編集・制作する。20～30分の番組を想定し、教育現場へ無償で貸し出す（オンライン及びDVDを予定）。NHKエデュケーショナルと合同での制作が実現し、NHKアーカイブ所蔵の映像も使用可能となった。2023～24年度では、森鷗外「舞姫」、夏目漱石「こころ」を制作、公開。	18,250,000	9,100,000	9,150,000
	公益財団法人日本近代文学館					
5	第76回中部日本高等学校演劇大会	2	高校生の演劇活動の支援と普及のため1948年に始まった高校生の演劇大会。中部6県（愛知、三重、岐阜、石川、富山、福井）で行われる各県大会の上位校を対象としており、本大会の最優秀賞「文部科学大臣賞」を受賞した高校は全国大会に出場することが出来る。大会最終日には、演劇における多様な表現方法を学ぶための研修会も行われる。	540,000	540,000	—
	株式会社中日新聞社 名古屋本社					
6	「教育機関のための著作権コンサルテーションセンター」設置計画	1	教育機関のための「著作権コンサルテーションセンター」を設置し、1) 著作権制度の理解、促進に資する支援システムの構築、2) 教育機関内においてそのような理解を促すことができる人材の育成、3) 教育・学習活動と著作権制度を適切に橋渡してできる人材による教育機関への高度な支援を実現する。これにより、教育機関及び教育関係者のみならず、権利者全体の利益にも資するものである。	15,520,000	15,520,000	—
	千葉大学アカデミック・リンク・センター					
7	「新しい子どもの歌」プロジェクト	2	当会は、未来を担う子どもたちへ新しい音楽を提供する作詞家・作曲家団体である。当会の活動の中心である「新しい子どもの歌プロジェクト」は、作詞コンクール、コンサート、楽譜出版から成る事業であり、幼児・児童・生徒を対象とした「子どもらしい歌・子どもが喜んで歌える歌」の創作・普及、ならびに、子どもたちが「新しい子どもの歌」に触れて言葉と音楽の素晴らしさや面白さを学ぶ機会を提供することを目的としている。	500,000	500,000	—
	一般社団法人全日本児童音楽協会					

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

2023年度共通目的事業・助成事業一覧

一般社団法人 授業目的公衆送信補償金等管理協会

No	事業名	事業区分	事業概要	助成総額 (円)	助成額	
	申請者名				2023年度分 助成額 (円)	2024年度分 助成額 (円)
8	高円宮杯第75回全日本中学校英語弁論大会	2	全国の中学生を対象にした自作の英語スピーチコンテストで、その内容や表現方法などを競う。優勝者には大会名誉総裁の高円宮妃久子殿下から「高円宮杯」が授与される。1949年に創設され、日本の未来を担う国際的な人材育成を目標に70年以上にわたって開催し、各界に多くの人材を輩出している。決勝大会に出場した約30人の優秀スピーチは、動画撮影・編集してインターネットなどで広く公開し、英語著作物の振興及び学校現場での英語教育に役立てる。	10,000,000	10,000,000	—
	株式会社読売新聞東京本社					
9	第13回えひめこども新聞グランプリ	2	県内の小学校、特別支援学校小学部の全児童を対象とした新聞コンクール。A2サイズの応募台紙に、各児童が自由にテーマを考え、取材し、手書きのオリジナル新聞を制作する。 応募は各学校から市町の教育委員会経由。審査委員は小中学校長らで構成。地区審査と最終審査を経て、グランプリ（最優秀賞）などを決定する。入選発表は新聞紙上にて。表彰式や県内3地区での作品展を開催し、新聞社HPでも入選者作品を公開。	1,750,000	1,750,000	—
	株式会社愛媛新聞社					
10	「『5分でできる著作権教育』Webサイトの改訂・充実」事業	1	校種・教科毎に、小・中・高等学校の児童生徒に授業中のわずかな時間で著作権について教えることができる指導内容を紹介した事例集、教員が知っておくべき著作権Q & A等を掲載した『5分でできる著作権教育』Webサイトを、学習指導要領の改訂、GIGAスクール構想、著作権法改正等を踏まえて改訂し、コンテンツの充実を図る。	3,573,000	1,699,000	1,874,000
	公益社団法人著作権情報センター					
11	「著作権情報センター資料室の蔵書の充実、利用者サービスの拡充」事業	1	誰でも利用できる施設として一般公開している著作権情報センター資料室の、国内外の著作権関連図書資料の一層の充実を図り、利用者サービスの拡充として2022年12月から開始した図書資料の複写サービスを継続する。また、蔵書の増加を受けて蔵書点検を行い、書架を整理して、利用者がより利用しやすい配架を行う。	7,279,000	7,279,000	—
	公益社団法人著作権情報センター					

【事業区分】1・・・著作権及び著作隣接権の保護に関する事業、2・・・著作物の創作の振興及び普及に資する事業

2023年度助成事業（1次・2次締切分） 助成総額合計 71,192,000円（内2023年度分 57,238,000円、2024年度分 13,954,000円）